

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七



# 10・12集会と国会デモに1550名決起

国鉄法案粉碎、分割・民営化絶対反対、10・12労働者総決起集会が、十月十二日、東京清水谷公園で開催され、十月九・十日の国労臨時大会で「労使共同宣言」締結策動を木端徹に打ち砕く偉大な勝利へ、その最先頭で闘いぬき意気あがる国労共闘の仲間、そして支援の仲間、千五百五十名が結集し、国鉄労働者がいよいよ立ち上る絶好機が到来、十月決戦を断固闘い、全国を席卷する全国ゼネストを必ず実現することを誓いあった。

## 闘えば勝てることを示した国労臨時大会

集会は、十二時四十五分、動労千葉・内山執行委員、国労共闘・小野氏の司会で開会が宣言された。まず、国労秋田の仲間より、国労臨大では、闘う国鉄労働者は不屈であり、健在であることが示された。この勝利をもって国鉄決戦の事態は完全に一変、闘えば絶対に勝てることを見事に示し、いまこそありとあらゆる方法で分割・民営化阻止の火花を上げよう、と挨拶された。そして、三里塚現地から反対同盟・宮本嘉氏が報告にたち「いま、反対同盟にかけられている二期攻撃、その前提として10・4反動判決が出された。何故、罪のないものが有罪となるのか。国労執行部の敗北は闘わなければ勝てないことを明らかにした」とこれからも堂々と闘うと力強い決意を述べられた。

## 20日から強力順法に起つ

そして、動労千葉・中野委員長が本集会の基調に起ち、いよいよ国鉄労働者が分割・民営化阻止にむけて総反撃を開始する宣言をする集会であり、待ちに待った時がいよいよやってきたと前置し、「最大の勝負は今月末までにかかっている。ここでいままでのあらゆる怒りと、うっ積した怨念をあと残された数十日にたたくつけなければならぬ」と、そして、「闘うためには準備が必要だ、一週間徹底した準備期間とし、二十日以降、創意工夫した順法闘争に決起しよう」と力強く展開した。

## 国鉄国会へのはじめてのデモ貫徹

八月下旬の大阪地本の闘いからはじまり、九月二四・二五日の中闘委、十月七・八日全国青年部のハンスト、何よりも九・十日の臨大において「労使共同宣言」に最後のいとどめをさした全国の国労の仲間より闘いの報告と決意表明が行われ、東京、千葉、高崎、仙台、秋田、新潟、大阪、広島島の代表が次々登壇し臨大の闘い、そして地本にとつて帰り闘いの準備に入ったと力強い報告がなされた。続いて、全金本山、自治労横浜、全造船石川島分会、佐藤芳夫氏から連帯の挨拶をうけた後、動労千葉から綾部津田沼書記長、永田千葉転支部長、新藤青年部長が第三波ストへの決意をあらわした。

集会宣言が国労・飯島氏、閉会挨拶が動労千葉・水野副委員長よりなされ、団結ガンパローの後、家族組合を先頭に国会デモを貫徹し、日比谷公園で総括集会をもち解散した。

# さあ反撃開始だ！全国総決起

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着

## 20日よりの動労千葉・強力順法にあらゆる決起で呼応しよう

十月九日・十日、伊豆修善寺で開催された第五十回国労臨時大会の歴史的勝利が国労共闘・吉野元久氏より意気高らかに力強く報告された。「何よりも中曾根、松崎、国鉄当局・杉浦が乞い願った国労本部の『共同宣言』締結策動に全国から結集した人材活用センターの仲間、多くの民間単産の仲間とともに、国鉄労働者の猛然たる怒りが爆発し、策動を粉碎した。国鉄労働運動の生き死にを文字通り決定する重大な闘いへの第一歩を切り拓いた」と喜びをもって報告し、「臨大で

職場で右派との対決がすべてを決する  
—国労臨大報告・国労共闘・吉野元久氏—  
十月九日・十日、伊豆修善寺で開催された第五十回国労臨時大会の歴史的勝利が国労共闘・吉野元久氏より意気高らかに力強く報告された。「何よりも中曾根、松崎、国鉄当局・杉浦が乞い願った国労本部の『共同宣言』締結策動に全国から結集した人材活用センターの仲間、多くの民間単産の仲間とともに、国鉄労働者の猛然たる怒りが爆発し、策動を粉碎した。国鉄労働運動の生き死にを文字通り決定する重大な闘いへの第一歩を切り拓いた」と喜びをもって報告し、「臨大で